

ライパット リクライニング介助 兼 自走式車椅子

保証書付 取扱説明書

このたびは自走式車椅子をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。


- 正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は保証書付きです。大切に保管してください。
- 保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。


 **警告** ご使用になる前に

ご使用される方の状態により、医師やケアマネージャーなどの専門家にご相談ください。
ご使用される方にあつた車椅子をご使用ください。
ご使用前に取扱説明書をご熟読いただき、ご理解された後にご使用ください。

**安全上のご注意** 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

 **警告** 誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

 **注意** 誤った使い方をすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

お守りいただきたい内容を区分して説明しています。



警告

誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

- ご使用前に必ず各部を点検して異常のないことを確認してからご使用ください。
各部の点検 ・車椅子が正しく展開されていること。
・ハンドルが確実に固定されていること。
・介助ブレーキや手動(駐車)ブレーキが正常に稼働すること。
・キャスター・タイヤ部分が正常に稼働すること。
・各部のねじにゆるみがないこと。
故障・異常のあるときは、直ちにご利用を中止し、販売店や当社までご連絡ください。
故障・異常箇所を放置したままご利用されますと、転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。
- 改造・分解などは絶対に行わないでください。
安全性の低下・強度不足・耐久性不足の原因となり大変危険です。
事故につながる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。
- 車椅子の乗降時および停止時は必ず平らな場所で両輪の駐車ブレーキをかけて車椅子を固定して行うようにしてください。必ず足置きペダルをあげてから乗降してください。
駐車ブレーキがかかっていないと車椅子が動き、衝突やご利用者の転倒事故につながる恐れがあります。
- 駐車・介助ブレーキは必要以上に力を加えないでください。作動方向以外に力を加えないでください。
作動方向以外に無理に力を加えると、駐車ブレーキが変形・破損する恐れがあります。
- 立ち座り時はゆっくりと行ってください。勢いよく立ち座りするとバランスを崩して転倒する恐れがあります。
- 車椅子の乗降時は足置きペダルの上に足を乗せないでください。
足置きペダルの上に足を乗せたまま乗降すると、バランスを崩し車椅子ごと転倒する恐れがあり大変危険です。また車椅子が破損する恐れがありますので、地面に足をつけた状態で乗降してください。
- タイヤ部分を持って車椅子を操作しないでください。
手や指がスポークや駐車ブレーキに挟まり大変危険です。
- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指や物を差し込まないでください。
けがをする原因となり大変危険です。
- 傘や荷物を持って片手で車椅子を操作して走行しないでください。
片手操作するとバランスを崩す原因になります。両手で操作し、バランスを保ちながら走行してください。
- 急発進、急停車、急方向転換をしないでください。
車椅子は道路交通法により歩行者として扱われます。交通ルールを守り、安全に走行してください。
- 背もたれを倒したまま使用しないでください。
後方への転倒、背もたれ金具でけがをする可能性があり大変危険です。
- 複数人で乗らないでください。
車椅子は一人用です。複数人で乗ると車椅子の破損・転倒し事故の原因になり大変危険です。
- 耐荷重を守ってご使用ください。耐荷重は積載物も含んだ重さです。
転倒し、けがや重傷につながる恐れがあります。
- 車椅子以外の目的で使用しないでください。
歩行者やシルバーカーとして使用したり、荷物運搬や踏み台として使用しないでください。
また、車椅子の上には絶対に立たないでください。転倒し、けがや重傷につながる恐れがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お守りいただきたい内容を区分して説明しています。



警告

誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

- 背面ポケットに1Kg以上の重いものを入れしないでください。
重いものを入れると後方に荷重がかかりバランスを崩して大変危険です。
また、操作レバーやハンドル部分に荷物を吊り下げるとバランスを崩したり、荷物が引っかかり転倒や転落事故の原因となり大変危険です。
- 車椅子を投げたり落としたり、強い衝撃を加えないでください。
フレームのゆがみ・破損・故障の原因となり事故の原因にもなります。
- 座面に強い衝撃を加えないでください。
座面中敷き板の破損の原因となりけがや事故の原因にもなります。
- 車椅子を火気に近づけたり高温になる場所に放置しないでください。
タイヤやプラスチック部分の変形、熱くなった金属部分等でやけどする恐れがあります。
また、シート部分が燃え火災の原因となります。
- 座面以外の部分に腰掛けしないでください。座面の上に立ち上がらないでください。
転倒・転落事故の原因となり大変危険です。
- 大人用車椅子を小さな子供に使用させたり遊ばせたりしないでください。
- 傾斜しているところや坂道での走行時は特にご注意ください。
傾斜しているところや坂道では、車椅子が予想外の方向へ進んだり、想定以上に速度が出るなど大変危険です。ご利用者が車椅子から落車したり、前方へ投げ出されるなど、非常に危険です。
- 走行中に身体を乗り出さないでください。また、身体を大きく激しく前後傾させないでください。
バランスを崩して車椅子ごと転倒したり投げ出されたりする恐れがあり、大変危険です。
特に段差や凹凸のある路面を走行する際は、身体が大きく前後傾にならないようご注意ください。
- 走行中は必ず足を足置きペダルの上に乗せて落ちないようにしてください。
足が地面についたまま走行すると足置きペダルと地面の間に足が巻き込まれて、けがをする恐れがあり危険です。また、ご利用者が靴を履いていない場合は足置きペダルが壁などに当たらないよう十分ご注意ください。
- 大きな段差や階段を無理に乗り越えようせず、エレベーターやスロープなどをご利用ください。
スピードをつけて段差や階段を乗り越えようすると、ご利用者が車椅子から転落し事故になる恐れがあります。また、強い衝撃が加わると前輪キャストやフレームが損傷する恐れがあります。
介助者の方は段差の前で一旦停止して、ティッピングバーを利用して乗り越えてください。
- 介助者の方は車椅子の操作方法を正しく理解し、取扱いに十分に慣れた状態で介助をしてください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お守りいただきたい内容を区分して説明しています。



注意

誤った使い方をすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

- 車椅子は道路交通法により歩行者として扱われます。道路を走行される際は必ず歩道を走行し右側を通行してください。段差や凹凸のあるところを走行される際は十分にご注意ください。
- 側溝の格子蓋や踏切の横断時やエレベーター乗降時は、車輪を溝やレールに対して直角にして、必ず介助者と一緒に渡ってください。斜めの角度で侵入する車輪が溝やレールにはまる恐れがあり危険です。必ず介助者に援助をお願いしてください。
- 坂道(上り下り)や段差のあるところでは、必ず介助者に支えてもらい走行してください。

上り坂は前向き走行



下り坂は後向き走行



坂道や段差を上るときは前向きに、下るときは後ろ向きに後方に注意しながら、必要に応じて介助ブレーキを使用しながらゆっくり走行してください。

坂道や段差を前向きで下ると、利用者の姿勢が前方に傾き前へずり落ちたり、前のめりとなり転倒・転落事故等の原因となります。また、速度が出やすくなり、介助者がバランスを崩し非常に危険です。

- 転倒防止キャスタ付き機種についてのご注意
転倒防止キャスタは後方への転倒を防ぐものです。過度な負荷をかけると破損する恐れがありバランスを崩して転倒につながる恐れがあります。
- 傾斜地や坂道で車椅子を駐車しないでください。
駐車ブレーキを使用しても車椅子が動く場合があり、衝撃や転倒などの事故につながる恐れがあります。車椅子の駐車は平坦な場所で行ってください。
- 次のような場所では走行を避けてください。事故や転落の原因になります。
交通量の多い道路・砂利道・凹凸の多い道・階段(階段昇降機が設置されていない)・エスカレーター
ぬかるみ・雪道・凍結路・柵のない側溝や路肩・崖・土手・防波堤上・その他危険な場所
- 次のような状況下では走行を避けてください。事故や転落の原因になります。
夜間時・雨天時・降雪時・強風時・濃霧時・その他危険が予想される場合
夜間時や濃霧時は側溝や障害物が発見しにくくなりとても危険です。雨天時や降雪時は路面が滑りやすくとっても危険です。
- 次のような場所では厳重な注意が必要です。事故や転落につながる恐れがあります。介助者が付き添い必要に応じてご利用者の身体を支えるなど注意しながら走行してください。
狭い道・踏切・横断歩道・駅のホーム・エレベーター・車いす対応の動く歩道・車いす対応の福祉車両
階段昇降機が設置されている階段・その他危険が予想される場所
- 認知症など、自力で操作ができない使用者が利用する場合は、介助者を伴ってください。
介助ブレーキを解除してしまうなど車椅子が思わぬ方向に動き、転倒・転落など事故やけがにつながる恐れがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お守りいただきたい内容を区分して説明しています。



注意

誤った使い方をすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

- 車椅子使用中はシートの中央に深く腰掛け左右にかたよらず、安定した姿勢で座ってください。前後左右に重心の偏りがあると転倒・転落など事故やけがにつながる恐れがあります。
- 介助者の方は常にご利用者の姿勢や状態に注意を払ってください。ご利用者の身体の一部、衣服が後輪やスポーク、前輪キャストなどに挟まらないように注意してください。地面や建物、歩行者などに触れないように注意してください。
- 介助者はご利用者が安定した姿勢で座れていることを確認してから操作してください。不安定な姿勢で操作すると転倒・転落など事故やけがにつながる恐れがあります。
- 靴を履かずに足を足置きペダルに乗せて使用する場合は十分にご注意ください。足置きペダルが壁や柱、物にあたると足をけがしたり、足が足置きペダルから落ちてけがするなど危険です。
- 発進時や段差を乗り越える時は前輪キャストがまっすぐになっていることを確認してから走行してください。前輪キャストが斜めの状態で段差へ進入すると段差を乗り越えられず、キャストが破損して事故の原因になることがあります。
- 飛行機に搭乗される場合のご注意
車椅子をご旅行先に持って行かれる場合は、事前に航空会社や旅行代理店にご相談ください。航空会社により機内に持ち込めるサイズ等が異なる場合があります。
- 道路交通法を遵守
道路交通法を遵守せずに使用すると交通事故の原因になります。また、本製品の保証対象外となる場合があります。
- 次のような場所に車椅子を放置しないでください。けがや事故、故障の原因になります。
子供がいたずらする恐れがあるところ・車道に近いところ・人通りの多いところ・路面に段差や凹凸のあるところ・傾斜地や坂道・湿気の多いところ・雨風のあたるところ・直射日光のあたるところ(車内含む) 非常口や消火器、消火栓の近く・ストーブ等の火気を使用し高温や火が燃え移りそうなところ・その他危険が予想される場所。

*製品は改良のため予告なく一部仕様を変更する場合がございますので、予めご了承ください。

*車椅子を廃棄する際は、お住まいの各自治体の指示に従ってください。

お手入れ方法

【フレームや金属部分】

フレームや金属部分は強くしぼった濡れタオルでよく汚れを落とし、乾いた布で拭きとってください。汚れが落ちない場合は市販の中性洗剤を使用してください。中性洗剤使用後は必ずきれいな水で仕上げ拭きを行ってよく乾かしてください。濡れたままにすると変色の原因になります。

【樹脂やプラスチック部分】

樹脂やプラスチック部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行ってよく乾かしてください。汚れが落ちない場合は市販の中性洗剤を使用してください。中性洗剤使用後は必ずきれいな水で仕上げ拭きを行ってよく乾かしてください。濡れたままにすると変色の原因になります。

【シート部分】

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行ってよく乾かしてください。濡れたままにすると変色の原因になります。

＜注意事項＞

- ・熱湯やオゾンで洗淨しないでください。故障や変形・変色の原因になります。
- ・中性洗剤以外を使用しないでください。変色・傷みの原因になります。
- ・揮発性のあるもの(シンナー・アルコール・ベンジン等)を使用しないでください。変色・傷みの原因になります。
- ・硬いブラシやコンパウンドは使用しないでください。変色・傷みの原因になります。
- ・直接水をかけないでください。拭き取り切れずに水滴が残ると錆の原因になります。

保守と点検

ご使用前は適宜安全点検を行ってください。詳しくはP12、13をご参照ください。

【タイヤ】 タイヤの溝は十分にあるか。ひび割れや変形はないか。

【ブレーキ】 介助ブレーキ、駐車ブレーキ共に正しく動作するか。調整は適切か。

【本体】 異音が発生しないか。漕いだ際にまっすぐ進むか。4輪共に接地しているか。傾きはないか。展開と折畳は正常にできるか。

【シート】 破損や大きなたるみはないか。

【各部ネジ】 緩みはないか。

折畳部・足置きペダル装着ボルト部・ブレーキ調整ナット部・ブレーキレバー接続部
前輪キャスト取付部など

【キャスト・ホイール・ハンドリム】 ぐらつきはないか。異音が発生しないか。

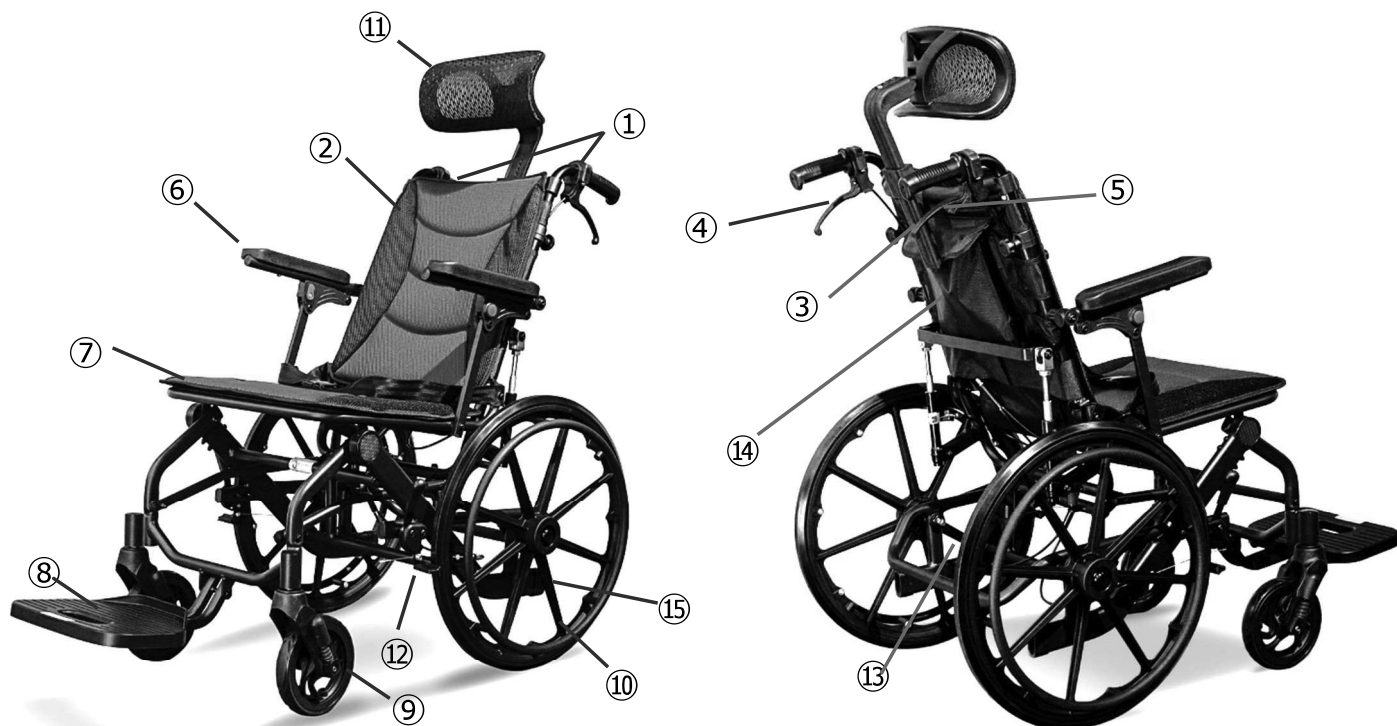
故障・異常のあるときは、直ちにご利用を中止し、販売店や当社までご連絡ください。

故障・異常箇所を放置したままご利用されますと、転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。

保管について

屋内で保管してください。長期間使用されない場合は汚れを落とし高温多湿を避けて保管してください。故障や錆、変形の原因になります。

各部名称



番号	名称	機能
①	介助用ハンドル	介助者が車椅子を押すときに使用するハンドル。
②	背もたれ	背中支持装置。背面シート。
③	介助用ブレーキ	車椅子の速度を制御するためのブレーキ。レバーを強く握ると駐車ブレーキになる。
④	リクライニングレバー	背もたれのリクライニング調整レバー。
⑤	駐車ブレーキ解除レバー	駐車ブレーキを解除するレバー。
⑥	肘置き	腕部支持装置。アームサポート。
⑦	座面	臀部・太腿部支持装置。座シート。
⑧	足置きペダル	足部支持装置。ステップ板。
⑨	前輪キャスタ	方向が変わる小輪。前輪。
⑩	後輪タイヤ	自走式車椅子の駆動輪。リアタイヤ。
⑪	ヘッドレスト	座席用の枕。
⑫	ブレーキパッド	ブレーキパッド
⑬	展開ロックレバー	展開時にロックするためのレバー
⑭	背面ポケット	背面ポケット
⑮	転倒防止キャスタ	ウイリー使用時や転倒防止するためのキャスタ
⑯	ハンドリム	手で漕いで駆動輪を回転させるための輪

展開方法

車椅子を展開する その1

本体展開方法



箱から取り出します



フットペダルを前に倒します



介助ハンドル部分を押さえながら
座面部分を押し下げ本体を展開します



ロック解除状態



ロック状態

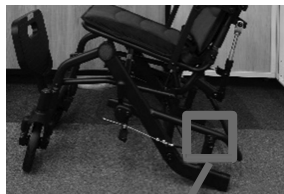
必ずロックしてください！

本体を展開後に本体後ろ下側にある折畳ロックレバーを押し上げてロックします

後輪軸取付方法



後輪タイヤに軸を差込みます



後輪タイヤ差込み口



後輪ホイール真ん中のボタンを押しながら
後輪軸を本体に差し込みます



展開方法

車椅子を展開する その2

ハンドル展開方法



ハンドル固定ネジを回して緩めます(ハンドルが回るまで緩めます)



ハンドルを前方向に回してハンドルが後ろ側に止まるまで回します



ハンドル固定ネジを回してハンドルを固定します

ヘッドレスト取付方法



ヘッドレストを差し込みます

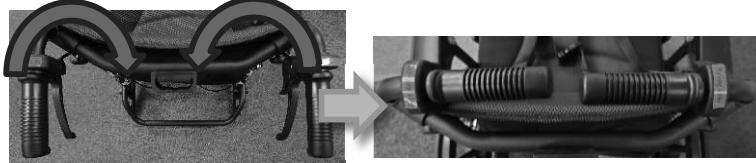
転倒防止キャスタ取付方法



転倒防止キャスタを差し込みます
※転倒防止キャスタは背面ポケットに入っています

折畳方法

車椅子を折畳する



ハンドルを外側に回して写真のような状態にします



ハンドル固定ネジを回して
ハンドルを固定します

ロック状態



ロック解除状態



本体を展開後に本体後ろ下側にある折畳ロックレバーを押し下げてロック解除します



前輪が前向き状態で折畳を行ってください
後ろ向きや横向きの場合、折畳むことができません



介助ハンドル部分を押さえながら
座面部分を押し上げ本体を折畳します

フットペダルを上へ上げて折畳
完了です



リアタイヤを外す場合は、ホイール真ん中のボタンを押し込んで
リアタイヤを手前に引くと外すことができます



転倒防止キャスタ取付時に限り折畳時に自立
することができます



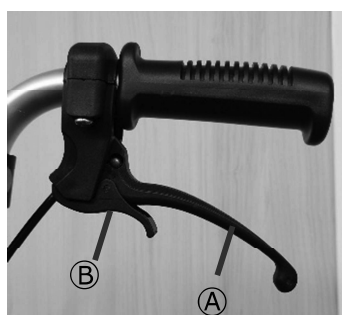
ブレーキの操作方法

介助用ブレーキ(介助ハンドル右側)



介助ハンドル右側のブレーキレバーを上方向に引くとブレーキがかかります。
ブレーキレバーを離すとブレーキが解除されます。
*左側の介助ハンドル下部についているレバーはリクライニング調整用のレバーです。ご注意ください。

駐車ブレーキ



Ⓐの介助用ブレーキを強く引くとⒷの駐車ブレーキ解除レバーが作動して駐車ブレーキが作動します。

Ⓑの駐車ブレーキ解除レバーを引くと駐車ブレーキが解除されます。



Ⓐ介助用ブレーキ

Ⓑ駐車ブレーキ解除レバー



駐車ブレーキ作動



駐車ブレーキ解除

⚠ 警告 介助用ブレーキ、駐車ブレーキ使用時の注意

本モデルは右側介助ハンドルの下部のレバーが介助ブレーキ、左側のレバーはリクライニング調整用のレバーです。リクライニング調整するとき以外は触れないようにしてください。転倒などのケガの原因になります。
定期的にブレーキ調整を行うようにしてください。

リクライニング調整方法

リクライニング調整用レバー(介助ハンドル左側)





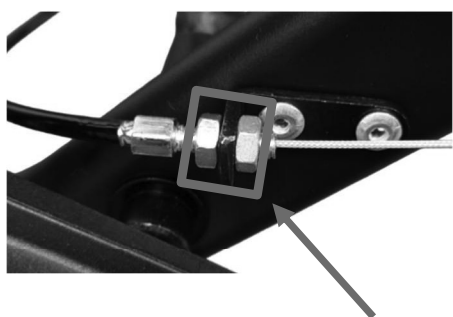
警告 リクライニング調整用レバー使用時の注意

本モデルは右側介助ハンドルの下部のレバーが介助ブレーキ、左側のレバーはリクライニング調整用のレバーです。リクライニング調整するときは左側の介助ハンドル下部にあるレバーを使用します。転倒などのケガの原因になります。リクライニング調整はゆっくりと行ってください。急な操作は使用者に負担がかかったり、転倒などしてケガの原因になります。

ブレーキ調整方法


使用状況によりブレーキの効きがゆるくなる場合があります。
ブレーキ調整ナットでブレーキ調整することができます。
ブレーキはとても重要な機能ですので定期的にメンテナンスを行うようにしてください。


使用する工具	プライヤー	または	モンキレンチ
			



ブレーキ調整は後輪付近にある□印部分のナットでブレーキ調整を行います。
調整するとブレーキパッドとタイヤの間の幅が変化しブレーキの効き調整を行うことができます。

回す方向によりブレーキパッドがタイヤに近づいたり離れたりします。
タイヤにブレーキパッドが接触しないようにしてください。

ブレーキパッド  後輪 距離が短いとブレーキの効きが強くなります

ブレーキパッド  後輪 距離が離れているとブレーキの効きが弱くなります

ブレーキ調整時の注意

ブレーキパッドが後輪に接触するとブレーキが後輪に干渉して動かしづらくなります。
ブレーキパッドが後輪から離れすぎるとブレーキが効かなくなりますのでご注意ください。
定期的にブレーキ調整を行うようにしてください。

点検・整備する

日常点検リスト

車椅子を使用する前に必ず各部の安全確認を行ってください。
 付属のメンテナンス道具を使用する場合、薄手の手袋を装着してください。

点検項目	点検内容
装備品の確認	レッグサポートは正しく装着されていますか
前輪キャスト	キャスト輪はしっかり固定されていますか、ガタつきはありませんか
介助用ブレーキ	車輪はしっかり止まりますか
駐車ブレーキ	車輪はしっかり止まりますか
肘置き	ガタつきやネジのゆるみはありませんか
座面	座面はきちんと展開されていますか
足置きペダル	足置きペダルはしっかりと固定されていますか
後輪タイヤ	後輪タイヤの溝はありますか、ガタつきはありませんか
ハンドリム	ガタつきはありませんか
転倒防止キャスト	転倒防止キャストはしっかりと固定されていますか(装着車)
背折れ金具	背面にしっかりと固定されていますか

車椅子の方式	自走 兼 介助式
型式	SX-03-RE
カラー	全2色(オレンジ、パープル)
全幅	65cm
全高	92cm(ヘッドレスト装着時108~124cm)
全長	112cm
座面幅	46cm
座面長	40cm
背面長	48cm
座面高	50cm
肘掛高	75cm
前輪径	18cm
後輪径	50cm
ハンドリム径	43cm
アームレスト	跳ね上げ式
フットレスト	跳ね上げ式
重さ	17KG

点検・整備する

定期点検リスト

安全にご使用して頂くためにご自身または取扱店で定期的に点検してください。
 長期間使用されなかった場合も同様にリスト内の点検をしてください。
 点検後、必要に応じて部品交換または各部調整をしてからご使用ください。

点検項目	点検内容	点検者	点検者	点検者
		点検日	点検日	点検日
装備品の確認	レッグサポートは正しく装着されていますか			
後輪	緩み、損傷は、摩耗はありませんか			
	キズ、ひび割れはありませんか			
	釘などの異物は刺さっていませんか			
	取付部が緩んでいませんか			
	ハンドリムにガタつきはありませんか			
前輪キャスト	しっかり固定されていますか、ガタつきはありませんか			
	取付部が緩んでいませんか			
	緩み、損傷は、摩耗はありませんか			
	キズ、ひび割れはありませんか			
	釘などの異物は刺さっていませんか			
介助用ブレーキ	車輪はしっかり止まりますか			
	取付部が緩んでいませんか			
	ブレーキの効きに左右差はありませんか			
	ブレーキワイヤに切れやほつれはありませんか			
駐車ブレーキ	車輪はしっかり止まりますか			
	取付部が緩んでいませんか			
	ブレーキの効きに左右差はありませんか			
	ブレーキレバーにガタつきはありませんか			
肘置き	ガタはありませんか			
	ネジは緩んでいませんか			
	キズや亀裂はありませんか			
足置きペダル	足置きペダルはしっかりと固定されていますか			
	キズや亀裂はありませんか			
座面	座面はきちんと展開できますか			
	シートのたるみはありませんか			
転倒防止キャスト	転倒防止キャストはしっかりと固定されていますか(装着車)			
	緩み、損傷は、摩耗はありませんか			
背折れ金具	背面にしっかりと固定できますか			
全体	各部にガタつきはありませんか			
	ボルト・ナットが緩んでいませんか			
	異音はありませんか			
	使用者が搭乗した状態で車輪は全て地面に接地していますか			
	まっすぐ走行しますか			
	折畳はスムーズに行えますか			

よくある質問

●保証書に販売店の捺印がありません。保証書として使用できますか？

ご使用いただけます。お客様のご注文情報は販売店で確認することができます。故障や不具合が発生した場合は、ご購入されました販売店までご連絡ください。

●購入した商品が必要なくなったので、返品・交換をしたいができますか？

良品にもかかわらず、サイズ違いやイメージ違いなどお客様のご都合での返品・交換に関してはお断りさせていただきます。

詳細につきましてはご購入されました販売店までお問い合わせください。

●部品の取扱いはありますか？

販売店にて部品販売しております。販売できない部品もございますので予めご了承ください。

ご利用中の商品名、お名前、お電話番号をお知らせください。

スムーズな部品手配のためにも詳細をお伝えください。

●商品に不具合・破損・不備があった場合は？

お届けしました商品に万が一、不具合・破損・不備などの初期不良がございましたら、大変お手数をお掛け致しますが、商品到着後7日以内にご購入されました販売店までご連絡ください。すぐに対応いたします。交換商品が欠品の場合は同等品との交換もしくは返金対応等とさせていただきます。

不具合・破損・不備箇所をお客様ご自身で修理等をされますと交換不可となる場合がございます。

不具合・破損・不備箇所を発見次第、至急販売店までご連絡ください。

商品到着後7日を過ぎて不良が発生した場合は、お手数ですが具体的な不良内容、使用状況、不良箇所を写真撮影いただき、ご購入日時、商品名、お名前、お電話番号を販売店までご連絡ください。

MEMO

※下記の保証内容は商品をご購入いただいたお客様向けのものです。

保証書

この製品は、厳密な検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合に、本保証書記載内容により無料修理いたします。

有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、下記の販売元にご依頼ください。修理に際してはお買い上げ日とお店等をお知らせください。

2. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

3. 保証期間内でも下記の場合は、有償修理になります。

(1)お買い上げ日やお店等が不明の場合

(2)使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷

(3)お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取扱いによる故障または損傷

(4)火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷

(5)タイヤやブレーキ等消耗品の損傷及び汚れ

(6)業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷

4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in japan.

5. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

6. 初期不良を除き、修理の際のお客様から販売元への送料はお客様負担、販売元からお客様への送料は販売元負担といたします。

〈個人情報取り扱いについて〉

(1)保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動の為に利用いたします。

なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。

(2)修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理致します。

★お買い上げ店名

★お買い上げ日 年 月 日 保証期間 お買い上げより1年間
お客様 ご住所 〒

お名前

TEL

★輸入販売元 住所 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-16-15 中屋第二ビル2F

フェニックス商事株式会社 TEL : 03-3865-7470 メール : info@phoenix-llc.co.jp

FAX : 03-5829-8378 <https://phoenix-llc.co.jp>

お電話でのお問い合わせ時間 : 10:00~17:30(祝日を除く月曜日~金曜日)

★保証にはお買い上げ日とお買い上げ店（サイト名）等が必要ですので、お忘れなくご記入ください。



輸入販売元

 **フェニックス商事株式会社**

高度管理医療機器等販売業・貸与業許可 第4501230215号
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-16-15 中屋第二ビル2F

TEL: 03-3865-7470

FAX: 03-5829-8378

メール: info@phoenix-llc.co.jp

ホームページ: <https://phoenix-llc.co.jp>

お電話でのお問い合わせ時間: 10:00~17:30(祝日を除く月曜日~金曜日)

ライパット リクライニング介助 兼 自走式車椅子
Designed by LIPAT in Japan, manufactured in China